

令和4年度第2回さぬき市総合計画審議会 会議要旨

- 1 日 時 令和4年9月16日（金）10時00分～11時55分
- 2 場 所 さぬき市役所3階 302会議室
- 3 出席者 【委員】石原委員 岩瀬委員 大風委員 太田委員 大塚委員 尾崎委員
 梶山委員 黒川委員 中澤委員 三井委員 頼富委員
 【市】向井審議監 中野総務部長 総務部政策課 間嶋課長
 矢野課長補佐 原田課長補佐
 【委託業者】(株)ぎょうせい
 【傍聴】3名
- 4 会議次第 1 開会
 2 会長挨拶
 3 議事
 (1) 後期基本計画骨子案について
 (2) 市民・中学生合同まちづくりワークショップ結果報告について
 (3) 市中期基本計画進捗状況評価結果報告について
 4 その他
 5 閉会
- 5 配布資料 資料1 第2次さぬき市総合計画 後期基本計画 骨子案
 参考資料① 中期基本計画 基本目標別基本施策の評価
 参考資料② 後期基本計画に向けて取り組むべき課題
 参考資料③ さぬき市 市民・中学生合同まちづくりワークショップレポート
- 6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	<p>(10:00) おはようございます。</p> <p>本日は御多忙の中、令和4年度第2回さぬき市総合計画審議会にお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日は、全委員の出席をいただいております。</p> <p>議事に入ります前に、会議の公開についてご報告させていただきます。本審議会の会議につきましては、附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針に基づき、昨年(令和3年)の第1回本審議会において公開することをご了解いただいております。本日の審議会におきましても公開することをご報告させていただきます。傍聴者がおいでますことをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、梶山会長よりご挨拶いただき、そのまま議事の進行にお移りくださいますようお願いいたします。</p>
会長	<p>(会長挨拶)</p> <p>それでは、議事を進めます。</p> <p>まず、本日の会議ですが、12時00分を目途に終了したいと考えておりますので、御協力をお願いします。</p> <p>それでは、議事(1)「後期基本計画策定スケジュールについて」、事務局から説</p>

	明をお願いします。
事務局	(事務局資料確認)
ぎょうせい	(ぎょうせい説明)
会長	この会議における、(株) ぎょうせいの役割は何か。政策課が説明すべきことではないか。
事務局	昨年より総合計画の策定に係るものについて委託契約し、実際の作業をしてもらっているからです。
会長	委託しても、市役所の政策担当が説明するのが本来なのではないか。個人的には基本的に違和感がある。どこまで(株) ぎょうせいが行うかは、(株) ぎょうせいと市役所の関係であり、まとめたものを意見として我々に提示するのは市役所ではないかと思う。「おんぶにだっこ」のような印象を受け、市役所は何をしているのかと感じる。 計画の達成度がよかったとしても、社会が何も変わらないというのはよくある。まさにこれがそうだ。さぬき市特有のものがあるのかといった点を私たちは聞きたいのではないか。市役所の姿勢は、審議会を開かないと次のステップに進めないからやっているという印象を受けた。 質問や意見があれば伺いたい。
委員	参考資料②2 ページの林業基盤の整備及び森林への総合理解の浸透の文章は、「おおむね計画通りに進行しています。」とシンプルだ。再来年から国民一人当たり 1,000 円が森林環境税として徴収され、森林環境譲与税として市町村に還元される。その関係の「森林環境税を活用した林業の振興、保全等々」を列記する必要があると思う。森林環境税は、国が立て替えて既に交付されている。さぬき市にも来ていると思う。
事務局	各課にヒアリングした時点では、関係課より詳しい話がありませんでした。担当課に確認します。
委員	香川東部森林組合の役員をされており、この件について役員会で協議をしている。よろしく願いたい。
委員	参考資料①12 ページ、市民病院の外来や入院についてはパーセントで表記されている。1 日当たりの入院患者数、外来患者数はどうなのか、そちらの方が身近で興味がある。
事務局	市民病院で数は把握していると思います。また指標については、市民病院がこういう指標だと分かりやすいのではないかといいことで設定しています。
委員	入院患者率(市民)は、目標値 72 に対して、70、72、72 となっていて、こういう形は全国的によく見る。実態の数は難しいのか。
事務局	表にある入院患者数とは別ということですか。

委員	入院患者数は、市民病院だけではないのでないか。市民病院に年間4万何千人が入院しているのか。
事務局	そうです。
委員	「(市民)」と記しているのだけが市民病院の数値だと思っていた。
事務局	「(市民)」を入れているのは、市外の人も市民病院に来るためです。全体のうち、さぬき市民の割合の数値です。 1日当たりの人数は、入院患者数や外来患者数の数字を割れば出てくるかと思えます。
委員	承知した。
会長	ほかにあれば伺いたい。
委員	参考資料②1ページの基本施策2「中小企業の振興及び魅力ある商業の振興」について、商工会は融資を行っているのではなく、あくまでもあっせんだ。 同3ページ基本施策6「若者の地元就職の促進」に「今後、地元企業と若者との就労条件の差を埋めることが課題となっています。」とある。大手や上場企業の就労条件と、地元の中小・零細企業の差を埋めるのは、なかなか難しい。中小企業は大手や上場企業のサプライヤーに位置しているので、経済の構造上無理だ。 例えば賃金が安い一方、生活費も安いので、生涯貯蓄高は応分にできる一面をPRしていかないと、大手や上場企業と就労条件をそろえることは難易度が高い。就労条件の賃金差を提示するのではなく、生涯貯蓄高や生涯賃金と生涯生活コストの差がどうかを具体化してもらえたらと思う。 同4ページ基本施策8「災害発生時における体制の整備」については確かにそういうことだが、災害時、避難場所に全員収容できるのか。この避難場所に入れる人数は〇人だ、このエリアは垂直避難で何とかしてくださいなどが必要ではないか。関東のあるエリアでは収容しきれず、近隣自治体に逃げて行かないと収まらないということが起きている。これはさぬき市だけでなく、全国的にある。しかし整備するとすると、とんでもない数を整備しないといけない。1年に何回使うのかを考えると難しいが、行政側できめ細かい避難手順や収容人数の明記、避難物資の準備などがいるのではないか。 同18ページにある「カーボンニュートラル」について述べたい。 建築物省エネ法が10月から施行される。工場の配電盤を新しいトップランナーというものに置き換えると補助が出るなどがあり、その中に、まだ表現はファジーだが、工場立地法で定められている建ぺい率について、自治体に裁量権が移るような記載になっている。工場立地法にある、敷地面積に対して一定の割合で緑化してほしいことや、太陽光を設置すると緑化面積をさらに減らせることについても既に自治体に裁量権がある。いずれ他の自治体が追いつくにしても、さぬき市がこれらをいち早く導入、推進すれば、企業誘致で効いてくる。さらに地球温暖化対策の対応も変わる。先日問い合わせたが、まだ行政は知らないレベルだった。総合計画に記載ということではないが、早く取り組んでもらいたい。
事務局	カーボンニュートラルは、生活環境課で対応しています。

会長	<p>カーボンニュートラル、脱炭素と書かれているが、これは誰を対象にしているのか。市民なのか企業なのかが分からない。市民ができることはない。こういう提言に関して行政としてどう取り組むのか、そのシステムがないとできはしない。計画や提言がありきたりである。それをどう実行するか、市役所側の意向を出してもらわないといけない。最初に戻ってしまうが、これに対してフラストレーションがある。我々は何をしているのか。</p>
委員	<p>会長の話された通りだ。</p> <p>市民や中学生対象にワークショップを行ったことは有益だと思う一方で、内容を見ると、前向きにどういう施策を足すかが語られている。しかしSDGsは利便性を追求する社会で、どれだけ時計の針を戻せるかだ。例えば排出ガス抑制に取り組めば、車でなく自転車移動になる、食品ロスに取り組めば、ホテルの立食パーティで食事や飲み物がいっぱい並ぶことはなく、見た目が貧相になるかもしれない。このようにSDGsに取り組むと不便になったり、昔の考え方に戻したりするという一面があることも含めて、正しい考え方を子どもに伝えてからワークショップをやってもらわないといけない。</p> <p>前を向くことばかりが議論されると、国や行政体も予算ばかり必要となる。役割を終えたものの予算をどれだけ切っていくかだ。市としての概念をどう出すかは、利権もあって難しいかもしれないが、予算を前向きに行くものと役割を終えたものに有効に配分していくかにつながる。一面的な議論ではなく、痛みを伴う、不便になる覚悟を実質的な議論の中では織り込んで答えを出していかないと、我々がここになぜ集まっているのかにつながると思う。</p>
委員	<p>会長の意見に賛成だ。</p> <p>前回のワークショップでも建設的な意見が出たが、実行できていない。中学生は立派な意見を出してくれ、新鮮だと思った。しかし実行するとなると「さぬき市は財政が苦しい」で終わるので、矛盾だらけな気がする。</p>
ぎょうせい	<p>まず課題は、私たちが作ったものではありません。素案は各課でベースが作られ、三日間かけて各課にヒアリングを行い、その内容をピックアップして整理しています。私たちは支援する立場です。各課の意見をまとめて整理して出しているだけです。</p> <p>課題の中には、さぬき市しか言っていないことがたくさん入っています。例えば鳥獣被害については猿のことが挙がっていますが、猿が挙がっているのはさぬき市ともう一か所しかありません。市民病院を前面に出してくるのはさぬき市しかありません。</p>
会長	<p>この冊子は「香川県さぬき市」と記載されており「株式会社ぎょうせい」ではない。さぬき市が説明すべきだと思っている。(株)ぎょうせいを責めているわけではない。</p>
ぎょうせい	<p>私たちが作った印象を与えることは、さぬき市役所にも大変失礼になるので、一言申し上げました。</p>
会長	<p>さぬき市が一言も話さない。こういう風にしたい、どこが問題点だ、計画の中でどこが大事かを言わない。(株)ぎょうせいが説明して、それについて審議して何になるのかと申し上げている。審議会のやり方について、さぬき市はどう考えているのかということだ。そこの思いが私には分からない。委員の意見を集めることが</p>

事務局	<p>目的なのかもしれないが、市は一切発言しない。何かないのか。</p> <p>(株)ぎょうせいの説明したことについて、計画策定は自前でやった方がよいのではないかという時代もありました。平成23年に総合計画を策定する際は自前で、職員2人でやりました。それはそれでよいと思いますが、専門の業者に委託することで、他の自治体の計画などの状況などの情報を得ることができます。</p> <p>また審議会に出してもらい、委員から出された意見の整理や分析を専門業者に手伝わってもらっています。先ほど(株)ぎょうせい担当者の説明にあったように、各課の調整や問題の整理など基本的には全て市がやっていますが、そういった部分に関わってもらい、専門的な見地から見てもらい、アドバイスしてもらう支援業務です。文章の作成や次の施策を作るにあたり、世の中の動きや他自治体の状況を踏まえた形にした方がよくなるという支援もしてもらっています。</p>
会長	<p>そういうことを申し上げているのではない。審議会の委員が知ることでもなくともよい。</p>
事務局	<p>計画自体を誰が作っているのかという話だったので説明しました。この会議で誰が説明するのかについて、さぬき市がやっているのであれば、市の職員が説明すべきではないかという話は、確かにそう思いました。記憶をたどれば、最初は市の職員が行っていました。ただ、前回の中期計画を策定した際に別の業者でしたが、その業者の担当者がしていました。</p>
会長	<p>これまでの経緯ではなく、今回の審議会でどうなのかということだ。(株)ぎょうせいに委託し、いろいろな調査を行っているが、それを市の言葉として伝えるべきではないか。</p>
事務局	<p>委託業務の中での業務範囲は分かりませんが、そういう意見があったので今後検討します。</p>
会長	<p>文書には香川県さぬき市と書いてある。(株)ぎょうせいではない。</p>
委員	<p>誰が話すかというのは言葉のあやだと思う。本質はこの内容について、市役所と(株)ぎょうせいでコミュニケーションを取った上で、市役所側が理解をして市役所の言葉とする。並んでいる項目の中でも、例えば市長の意向もあって教育に力を入れる、福祉に力を入れるといったようなことを話してほしいということだと思う。さぬき市の思いを知ることができれば、審議会もその項目についてもう少し意見を出そうかなどといった場にはできるのではないかという提案だと思った。</p>
委員	<p>(株)ぎょうせいと市役所の打ち合わせは、どのくらいの回数行われているのか。(株)ぎょうせいの説明は十二分に分かったが、何が問題点なのかを市は把握しているのか。</p>
事務局	<p>例えば参考資料②であれば、前回の審議会後から各課への照会、意見をもらうかといった様式の検討からそれぞれについて、随時やりとりをしています。こうした方がよいのか、他の自治体ではどういう形でやっているのかといったやりとりをして、各課に現状と課題、次にどうするかを照会し、それを取りまとめ、(株)ぎょうせいと確認しながら各課のヒアリングを行いました。</p>

委員	私たちの役割は、今日説明を聞くだけなのか。
事務局	今回は骨子案について、これでよいかを見てもらえたらと思っています。
会長	<p>民間企業に長く勤めていたが、市役所はパラダイスだと思った。かけ離れている。自分たちの行政能力やキャパシティの限界があるのは分かるが、やはり先頭に立ってやってもらいたい。</p> <p>冒頭で「事務局に説明をお願いします」と議事を進行した。(株)ぎょうせいにはない。そのこの区別がつかなくなっているのではないかと思った。この点はとても大事だと思う。</p> <p>続いて議事(2) 市民・中学生合同まちづくりワークショップ結果報告について、説明を願いたい。</p>
ぎょうせい	(ぎょうせい説明)
会長	何か意見があれば伺いたい。
委員	ワークショップに参加した中学生に対して、自分たちの出した意見がどんな風に改善された、取り組んでいるなどといった報告はあるか。私たちも出された意見は目にするが、そこから先が分からない。せつかく中学生がよい意見を出しているのなら、どう生かすのかといった結果報告があるのか。
事務局	ワークショップのレポートは、もう少し精査してホームページで公表する予定です。
委員	<p>ワークショップや住民参加型の意見交換などの進め方、内容の在りようを考えてもらわないといけない。多様な意見が出てくるが、予算に限りがあるので、あちらを立てればこちらが立たずとなる。要望を聞くだけ聞いて、それをやらなければ「聞いてもらえない」となる。良い話ばかりだけでなく、厳しいところや市民に我慢してもらいたいことなどもきちんと話さないといけない。先ほど話したSDGsもそう。</p> <p>工業団地の古いガードレールの修繕を要望しに行ったら、最初は「ガードレールがあるだけで良しとしてください。ない所もありますから」と言われ、ない所から付けるという話だった。これは後に予算が付いた。また、誰かがごみを捨てて道路が汚いからきれいにしてほしいと市に電話したら、税金でその作業が行われる。例えば地域のボランティアが地域の清掃などを行ったりすれば、その分財源が浮く。こういったように、限られた予算の中ですぐできること、できないこと、市民が行えば財源が浮くことがある。その浮いた財源で何ができるかといったところをワークショップや住民参加型でやってほしい。市は「そうですね」と言うだけではなく「何とかならないか」「皆さんの労力で何とかしてもらえないか」みたいなことも話して議論してもらえると、そういうことが少しずつ醸成されるのではないか。希望だけ聞いていると、パンクしてしまう。</p>
会長	資料1の45ページにある「さぬき市版SDGs」を見ると、交通安全の問題については何の意見もない。例えば千葉県で酔っ払いのトラックの事件があったが、問題は分かっているのに、お金がないからと何もしていなかった。その後調査して対策をした。どこかおかしい。行政は先取りをせず、問題が起きれば大変だと大騒ぎして、これから問題が起きないように何かをする。そういう姿勢がこの審議

<p>ぎょうせい</p> <p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>会全般にも漂っている気がする。私たちは、市としての意見を聞きたい。 続いて議事（３） 中期基本計画進捗状況評価結果報告について、説明願いたい。</p> <p>（ぎょうせい説明）</p> <p>事務局から何かあるか。</p> <p>御意見ありましたらよろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>16 ページ基本施策 22 学校教育の充実「教育用コンピュータの現有台数」について、今、市内の小学生にプログラミングを教えているが、タブレットが渡され、パソコンが自由に使えるようになったという報告がある一方で、プログラミングの授業をしてくれないという相談が小学生や保護者から結構ある。そういったネックとなっている部分も次回以降指標に加えてはどうか。先生自身もプログラミングを学んでいないので仕方ないし、修正案には I C T 指導員といった文字もあるので加味していると思うが、指標にもそういうことが反映されると、さらに良くなるかと思う。配付や設置の方が指標として分かりやすいとは思いますが、物を渡しても小学生が勝手にできるわけではないので、教え手側の部分も加えるとよい。</p> <p>基本施策 25 歴史・文化の伝承について、松平家が所有していた歴史的価値のある「静観荘」が太陽光発電の場所にされるということで取り壊されると新聞に掲載された。これはカーボンニュートラルの観点からすると空き家がなくなり、自然エネルギーなので良いことだが、文化的観点から見ると「あれ？」となる。こういった守れなかった文化財については、指標には出てこない。価値のある物が S D G s という大義名分で壊されるのは、少し悲しい。難しいし、時流もあると思うが、時流を武器にしない指標の立て方ができるといいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>国レベルの話になり、一地方自治体では難しい。大阪の天王寺で高齢女性が一人で住んでいた建物は重要文化財的なものだった。その人は住居としているため固定資産税を払わないといけませんが、生活が苦しい。そのため文化財にしてほしいと思うが、文化財の申請をすると、住めなくなってしまう。そこで生活のためにデベロッパーに売り、デベロッパーは取り壊してマンションを建てた。国が歴史的文化的価値のものをどうするのか。今のルールだと、個人が所有しているものは課税対象になり、文化財になると人が住むわけにはいなくなる。</p>
<p>委員</p>	<p>もしかしたら今のは一例で、難しいとは思いますが、対応できる可能性のある部分は考慮してもらえるといいと感じた。</p>
<p>委員</p>	<p>今日の四国新聞にさぬき市は、子ども全員にタブレットを配付していると掲載されていた。あとはソフト、コンテンツの話だ。今の授業の進め方だと、優秀な子はカリキュラムよりどんどん先に進むから、授業は面白くない。一方で付いていけない子は、限りなく付いていけない。そうすると今やっている授業が有益になっている子は何人いるのかということになる。一斉に同じ授業を受けることから脱しないといけない。その子に必要なことをやるべきである。タブレットを全員に配付し、これからどのような授業体系にしていくのか、授業の進め方まで踏み込んでいくと、さぬき市は斬新だと全国から思われる。ほかではやっているところがあり、視察もある。どう活用していくかは大きなテーマだ。</p>
<p>委員</p>	<p>I C T については、ギガスクール構想でタブレットを児童・生徒一人一人に配付</p>

	<p>することがまずできていなかったため、配付が当面の目標だった。併せて先生がタブレットの使い方、個別のテキストや資料作成などを行っている段階だ。とりあえず第1ステージとして配付ができた。</p> <p>第3次教育振興基本計画を今策定しつつあるが、そこで先生の研修を含め、ソフト面の充実を図るという話が出てくる。ただ公立学校の場合は指導要領があり、全体の資質アップや基準の向上が図られ、成果は大きい。半面優秀な子、付いていけない子がいる。</p> <p>今学校現場ではプログラミング教育、道徳教育、英語教育とやらなければならないことが増えている。小学校の先生は全教科を一人で教えないといけないので、業務が異常に増大し、内容も増えている。一方で、働き方改革により先生の時間数は削減する方向になっている。学校現場は予算が少なく、先生の情熱と努力で成り立っていることを知っておいてもらいたい。教育委員会も学校現場もできる範囲でやるが、限界がある。今先生の希望が減っているのは、ブラック化している状況があり、モンスターペアレンツの増加もある。現場は苦悩していることも知ってもらいたい。</p>
<p>会長</p>	<p>タブレットについては、日本は30年遅れてしまった。特に公立学校はひどすぎる。突き抜けた人間を作れない。遅れた人間はどうするのかといわれるが、気にしては日本が潰れてしまう。公平性を保ちながら、いかに突き抜けた人間を育成するかだ。ハードだけではない。中高6年間学んでも英語をしゃべれないのが教育の現状だ。市のレベルではないかもしれないが、私たちがやらなければならないことがたくさんある。日本だけ見て生活できる環境ではなくなってきた。今は後進国といわれている国の方が教育水準は高いし、英語もしゃべれる。日本はどこかでおかしくなったような気がする。</p> <p>ほかにあれば伺いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>DXが新しく挙げられているが、職員も含めて本質をもう少し勉強してほしい。一番大きいのは、距離の概念が短くなることだ。昔の歩くしかなかったときの距離の概念と、文明の発達で車や飛行機を使ったときの距離の概念が変わったように、ウェブを使うと距離の概念がなくなる。その中でDXをどう現場に落とし込んでいくか、市民とのやりとりでどう落とし込んでいくかを考えてもらいたい。</p> <p>河野デジタル大臣になってから書類の押印が減って、直筆サインのみが多くなった。行政側がそういうことをどう考えるか。自分たちで分からないなら専門家を講師に招いて、研修で知見を上げて施策に生かしてもらいたい。</p>
<p>会長</p>	<p>ほかになければ、議事を終了する。事務連絡があれば事務局より願いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の会議について</p> <p>閉会挨拶 閉会（11：55）</p>